

# ベーチェット病患者の QOL 調査ベースラインデータ分析結果と追跡調査結果

分担研究者 稲葉 裕 (順天堂大学医学部衛生学)  
共同研究者 黒沢美智子 (順天堂大学医学部衛生学)  
玉腰 暁子 (愛知医科大学公衆衛生学)  
金子 史男 (福島医科大学医学部皮膚科)  
西部 明子 (福島医科大学医学部皮膚科)  
川村 孝 (京都大学・保健管理センター)  
松葉 剛 (順天堂大学医学部衛生学)

## 研究要旨

ベーチェット病患者の QOL をフォローアップし、影響する因子を分析することを目的に特定疾患の疫学に関する研究班と共同で企画した。本調査は2003年に実施した全国疫学調査二次調査対象施設と患者に調査への参加を呼びかけ、同意の得られた対象者について実施した。QOL 調査票は SF-36v2 を用いた。この調査票は身体機能、日常役割機能 (身体)、体の痛み、全体的健康感、活力、社会生活機能、日常役割機能 (精神)、心の健康の 8 つの尺度があり、各々日本人の国民標準値と比較できる。ベースライン調査は2003年11月に開始、311例回収された。ベースライン調査結果、対象者の QOL は全尺度が国民標準値より低かった。重症度、年齢で QOL に差が認められた。薬剤投与後に症状が進行・無反応の QOL スコアは顕著に低く、合併症有り、完全型ベーチェット、罹病期間 (長)、最近 1 ヶ月間の経口ステロイド投与、活動性有り、口腔内アフタ性潰瘍、関節炎、外陰部潰瘍、消化器疾患、結節性紅斑様皮疹の症状が重い人の QOL が低かった。フォローアップ調査は2006年5月に開始し、同年12月までに回収された調査票のうちベースラインデータとリンケージできた172例を分析対象とした。各尺度のスコアを50点以上と未満に分け、多重ロジスティックモデルを用いて性と年齢を調整した上でどのような症状が QOL スコアに関連しているかフォローアップ時とベースライン時の項目を分析した。ベーチェット病患者の QOL は比較的最近の症状だけでなく、ベースライン時の症状や治療とも関連していた。これまでの知見等を参考にして引き続き検討する予定である。

## A. 研究目的

ベーチェット病患者の QOL をフォローアップし影響する因子を分析することを目的とする。

## B. 研究方法

本調査は特定疾患の疫学に関する研究班と共同で企画した。本調査は2003年に実施した全国疫学調査二次調査対象施設と患者に本調査への参加を呼びかけ、同意の得られた対象者について実施した。ベースライン調査は2003年11月に開始し、2004年10月まで回収した。対象者が記入した QOL 調査票と担当医記載の調査票は事務局にお

いて ID でリンクし、個人が同定できるデータを入力せずに分析した。QOL 調査票は SF-36 v2 を用いた。この調査票は身体機能、日常役割機能 (身体)、体の痛み、全体的健康感、活力、社会生活機能、日常役割機能 (精神)、心の健康の 8 つの尺度があり、各々日本人の国民標準値と比較できる。まず、ベーチェット病患者の尺度別スコアを国民標準値と比較し、次に重症度、年齢、薬剤投与後の症状、主症状の有無、罹病期間、合併症の有無、病型、最近 1 ヶ月間の活動性や治療内容によって QOL スコア平均値が異なるかどうか t 検定で分析した。フォローアップ調査は2006年5月に開始、同年12月までに回収された調査票のうち

ベースライン調査票とリンケージできた症例を分析対象とした。フォローアップ調査の各尺度のスコアを国民標準値の50点以上と未満に分け、多重ロジスティックモデルを用いて性と年齢を調整した上でどのような症状がQOLスコアに関連しているかフォローアップ時とベースライン時の両方を分析した。

### (倫理面への配慮)

対象者からの同意を得て開始し、個人が同定できるデータは入力せずに分析に用いた。

## C. D. 研究結果と考察

### 1. ベースライン調査結果

対象者のQOLは全尺度が国民標準値より低かった。重症度、年齢、主症状の有無でQOLに差が認められたが、特に薬剤投与後に症状進行・無反応者のQOLは顕著に低かった。また罹病期間(長)、合併症を有する人、完全型、最近1ヶ月間に経口ステロイド投与、最近1ヶ月間の活動性「有り」のQOLが低く、特に口腔内アフタ性潰瘍、関節炎、外陰部潰瘍、消化器疾患、結節性紅斑様皮疹の症状が重い人のQOLが低かった。眼症状の活動性とQOLは関連が認められなかった。

### 2. フォローアップ調査結果

2006年12月までに患者214件(67.7%)、担当医233件(73.7%)から回収され、172例(54.4%)がベースラインデータとリンケージできた。ベースライン時とフォローアップ時の各スコアの平均値には差は認められなかった。多重ロジスティックモデルの結果、フォローアップ調査の身体機能尺度低スコアに最も関連していたのはベースライン時の「関節の痛み(重)」でオッズ比16.27(95% CI:1.55-171.34)、次に同じく「消化器症状(重)」14.78(95% CI:1.34-162.75)、フォローアップ時の「1ヶ月の経過(悪)」12.57(95% CI:1.61-98.02)であった。身体的役割機能尺度低スコアに最も関連していたのはベースライン時の「1年前より悪化」オッズ比7.24(95% CI:1.81-28.99)、同じく「関節の痛み(重)」6.92(95% CI:2.10-22.78)、重症度(重)6.31(95% CI:1.18-31.08)であった。身体の痛み尺度低スコアに

最も関連していたのはベースライン時の「関節の痛み(重)」20.21(95% CI:4.31-94.73)、フォローアップ時の「1年前より悪化と自覚」11.14(95% CI:2.15-57.77)、ベースライン時の「血管の炎症(重)」8.16(95% CI:1.81-36.74)であった。全体的健康感尺度低スコアに最も関連していたのはフォローアップ時の「皮膚の症状」オッズ比9.01(95% CI:1.12-72.69)、次に同じく「血管の炎症」8.94(95% CI:1.13-70.85)、活動期8.86(95% CI:1.13-69.36)等であった。活力尺度低スコアに最も関連していたのはフォローアップ時の「1年前より悪化」オッズ比12.53(95% CI:2.46-63.80)、「1ヶ月間の経過(悪)」8.59(95% CI:1.82-40.34)、ベースライン時の「胃や腸の症状(重)」であった。社会生活機能尺度低スコアに関連していたのはベースライン時の「関節炎(重)」オッズ比10.05(95% CI:1.26-80.16)、「1ヶ月間の経過(悪)」6.91(95% CI:1.88-25.38)、「胃や腸の症状」6.41(95% CI:1.76-23.38)、精神的日常役割機能尺度低スコアに関連していたのはベースライン時の「1ヶ月間の経過(悪)」オッズ比6.40(95% CI:1.67-24.57)、フォローアップ時のステロイド局所療法4.67(95% CI:1.82-12.49)などであった。ベーチェット病患者のQOLは比較的最近の症状だけでなく、ベースライン時の症状や治療とも関連していた。また全尺度に影響している要因や、ある尺度にのみ関連している要因もあり、これまでの知見等を参考に引き続き検討する予定である。

## 結 論

本調査はベーチェット病患者のQOLをフォローアップし影響する因子を分析することを目的にQOL調査票SF-36v2を用いて、2003年、2006年に実施した。この調査票は8尺度からなり、日本人の国民標準値と比較できる。ベースライン調査の結果、対象者のQOLは全尺度が国民標準値より低かった。重症度、年齢でQOLに差が認められ、合併症有り、完全型ベーチェット、薬剤投与後に症状進行・無反応、罹病期間(長)、最近1ヶ月間の経口ステロイド投与、活動性有り、口腔内アフタ性潰瘍、関節炎、外陰部潰瘍、消化器疾患、結節性紅斑様皮疹の症状が重い人のQOL

が低かった。フォローアップ調査はベースラインデータとリンケージできた172例を分析対象とした。各尺度のスコアを国民標準値の50点以上と未満に分け、多重ロジスティックモデルを用いて性と年齢を調整した上でどのような症状がQOLスコアに関連しているか分析した。ベーチェット病患者のQOLは比較的最近の症状だけでなく、ベースライン時の症状や治療とも関連していた。これまでの知見等を参考にして引き続き検討する。

## E. 健康危険情報

特記事項なし。

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

1. 黒沢美智子, 稲葉裕: Behcet 病の最近の疫学像の動向. 医学のあゆみ215(1): 5-8, 2005

### 2. 学会発表

1. 黒沢美智子, 稲葉裕, 松葉剛, 西部明子, 金子史男, 川上佳男, 玉腰暁子, 川村孝. ベーチェット病の全国疫学調査－患者数の推計. 第15回日本疫学会学術総会講演集, p143, 2005
2. 稲葉裕, 黒沢美智子, 松葉剛, 西部明子, 金子史男, 川上佳男, 玉腰暁子, 川村孝. ベーチェット病の全国疫学調査－臨床疫学像. 第15回日本疫学会学術総会講演集, p144, 2005
3. Michiko Kurosawa, Yutaka Inaba, Tsuyoshi Matsuba, Akiko Tamakoshi, Fumio Kaneko, Akiko Nishibu, Takashi Kawamura. QOL study of Behcet's disease patients in Japan. Rheumatology Supple42, S15, 2006.
4. Yutaka Inaba, Michiko Kurosawa, Fumio Kaneko, Tomohiko Makino, Masaki Nagai. Analysis of the electronic clinical database(2001-2004)of patients with Behchet disease receiving financial aid for treatment in Japan. Rheumatology Supple42, S16, 2006.
5. 黒沢美智子, 稲葉裕, 金子史男, 永井正規. ベーチェット病の臨床調査個人票データの分析. 第65回日本公衆衛生学会総会抄録集, 2006
6. 黒沢美智子, 稲葉裕, 松葉剛. ベーチェット病のQOL調査. 第71回日本民族衛生学会総会

講演集, p190-191, 2006

7. 黒沢美智子, 稲葉裕, 金子史男, 永井正規. 臨床調査個人票データベースを用いたベーチェット病の予後の検討. 第77回日本衛生学会総会講演集, p699, 2007
8. 黒沢美智子, 稲葉裕, 玉腰暁子, 金子史男, 西部明子, 川上佳男, 川村孝. ベーチェット病のQOLフォローアップ調査. 第66回日本公衆衛生学会総会抄録集, p398, 2007

## H. 知的財産権の出願, 登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

---

## IV. 研究成果の刊行に 関する一覧表

---

## 研究成果の刊行に関する一覧表

## 書 籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
金子史男, 尾山徳孝	Behcet 病診断の落とし穴 —類似疾患を 誤診するな—	西岡 清	皮膚科診療のコツと 落とし穴, ②疾患 I	中山書店	東京	2006	124-125
金子史男	乾癬	大関武彦, 古川 漸, 横田俊一郎	今日の小児治療指 針, 第14版	医学書院	東京	2006	625
金子史男	Behcet 病	大田 健, 奈良信雄	今日の診断基準	南江堂	東京	2007	673-677
金子史男	ベーチェット病 (皮膚科)	山口 徹, 北原光男, 福井次矢	今日の治療指針 (Today's Therapy). 2007	医学書院	東京	2007	847-848
北市伸義, 大野重昭	虹彩炎	樋田哲夫	眼科プラクティス7 糖尿病眼合併症の 治療方針	文光堂	東京	2006	162-164
北市伸義, 大野重昭	ぶどう膜炎の分類と頻度		すぐに役立つ眼科診 療の知識 基礎から わかるぶどう膜炎	金原出版	東京	2006	3-7
小野江和則	Really Essential Medical Immunology 2 <sup>nd</sup> ed.	I. Roitt	メディカル免疫学	西村書店	東京	2006	193
小野江和則・ 岩瀬和也	ペプチド抗原と脂質を認 識する二つのT細胞系.	北海道大学 COE 研 究 成果編集委 員会	バイオとナノの融合. II. 新生命科学の応 用.	北海道大 学出版会	札幌	2007	355
小野江和則		小野江和則	医科免疫学	南江堂	東京		印刷中
小野江和則			分子細胞生物学辞典	東京化学 同人	東京		印刷中
佐々木佳奈, 猪子英俊	HLA タイピングと疾患 感受性	松島綱治, 酒井敏行, 石川 昌, 稲寺秀邦	予防医学事典	朝倉書店	東京	2005	284-286
大野重昭, 北市伸義, 南場研一, 猪子英俊, 水木信久, 太田正穂	Behcet 病に対するシクロ スポリン治療		免疫の進化(副題: シクロスポリン20年 の軌跡)(シクロス ポリン学術国際シン ポジウム編)	医薬 ジャーナ ル社	大阪	2006	196-203
桑名正隆	特発性血小板減少性紫斑 病	山本一彦	臨床免疫学(下) — 基礎研究の進歩と最 新の臨床—	日本臨床 社	大阪	2005	443-449
桑名正隆	特発性血小板減少性紫斑 病	宮坂信之, 小池隆夫, 住田孝之, 山本一彦, 羅 智靖, 渡辺 守, 石井裕正	わかりやすい免疫疾 患	南山堂	東京	2005	S312- S315
桑名正隆	特異的検査法に基づく ITP 診断	坂田洋一, 小澤敬也	別冊・医学のあゆみ 血液疾患—state of arts Ver.3	医歯薬出 版	東京	2005	425-427
桑名正隆	特発性血小板減少性紫斑 病と本能性血小板血症	一瀬白帝	図説 血栓・止血・ 血管学	中外医学 社	東京	2005	248-254

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
桑名正隆	自己抗体産生と HLA 拘束性	竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆	リウマチ・膠原病 最新トピックス—変 わりゆく研究と診療	診断と治 療社	東京	2005	28-29
桑名正隆	全身性強皮症における血 管内皮前駆細胞異常	竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆	リウマチ・膠原病 最新トピックス—変 わりゆく研究と診療	診断と治 療社	東京	2005	57-58
桑名正隆	全身性強皮症における抗 RNA ポリメラーゼ抗体 と ELISA の開発	竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆	リウマチ・膠原病 最新トピックス—変 わりゆく研究と診療	診断と治 療社	東京	2005	97-99
桑名正隆	抗副刺激分子療法	竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆	リウマチ・膠原病 最新トピックス—変 わりゆく研究と診療	診断と治 療社	東京	2005	161-163
桑名正隆	血小板の量的異常	浅野茂隆, 池田康夫, 内山 卓	三輪血液病学	文光堂	東京	2006	1627-1650
桑名正隆	抗リン脂質抗体症候群 (Antiphospholipid Syndrome: APS)	吉田彌太郎	血液疾患ハンドブック —日常診療の手引き と臨床データ集—	医薬 ジャーナ ル社	大阪	2006	281-292
桑名正隆	強皮症	泉孝英	ガイドライン外来診 療2006	日経 メディカ ル開発	東京	2006	381-383
桑名正隆	関節穿刺と関節液検査	池田康夫, 鈴木則宏	内科研修マニュアル (改訂第2版)	南江堂	東京	2006	526-527
桑名正隆	強皮症	池田康夫, 鈴木則宏	内科研修マニュアル (改訂第2版)	南江堂	東京	2006	540-543
桑名正隆	Behçet 病	池田康夫, 鈴木則宏	内科研修マニュアル (改訂第2版)	南江堂	東京	2006	561
桑名正隆	抗リン脂質抗体症候群	池田康夫, 鈴木則宏	内科研修マニュアル (改訂第2版)	南江堂	東京	2006	564
桑名正隆	血清蛋白とその分画	橋本信也	最新 臨床検査の ABC	医学書院	東京	2006	142-145
桑名正隆	免疫グロブリン G, A, M, D(IgG, IgA, IgM, IgD)	橋本信也	最新 臨床検査の ABC	医学書院	東京	2006	146-148
桑名正隆	免疫グロブリン E (IgE)	橋本信也	最新 臨床検査の ABC	医学書院	東京	2006	149
桑名正隆	抗リン脂質抗体症候群 (Antiphospholipid Syndrome: APS)	山口 徹, 北原光夫, 福井次矢	今日の治療指針 2007年版—私はこう 治療している	医学書院	東京	2007	596-597
桑名正隆	特発性血小板減少性紫斑 病における <i>H. pylori</i> 除菌 療法の治療成績は？ 難治 例では無効か？ <i>H. pylori</i> 陰性例では無効か？	押味和夫, 別所正美, 岡本真一郎, 加藤 淳	EBM 血液疾患の治 療2008-2009	中外医学 社	東京	2007	492-495
桑名正隆	ベーチェット病 (Behçet's Disease) (内科)	山口 徹, 北原光夫, 福井次矢	今日の治療指針 2008 年版—私はこう治療 している	医学書院	東京		印刷中
桑名正隆	リウマチ性多発性筋痛 症；全身のこわばりと筋 痛で受診した82歳女性	鈴木則宏	New 専門医を目指 す CASE METHOD APPROACH 神経疾 患第1版	日本医事 新報社	東京		印刷中
桑名正隆	レイノー症候群	池田宇一, 大越教夫, 横田千津子	病氣と薬パーフェク トガイド2008	南山堂	東京		印刷中

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
桑名正隆	大動脈炎症候群	池田宇一, 大越教夫, 横田千津子	病気と薬パーフェクトガイド2008	南山堂	東京		印刷中
桑名正隆	ウェゲナー肉芽腫症	池田宇一, 大越教夫, 横田千津子	病気と薬パーフェクトガイド2008	南山堂	東京		印刷中
桑名正隆	アレルギー性肉芽腫性血管炎	池田宇一, 大越教夫, 横田千津子	病気と薬パーフェクトガイド2008	南山堂	東京		印刷中
桑名正隆	リウマチ性多発筋痛症	池田宇一, 大越教夫, 横田千津子	病気と薬パーフェクトガイド2008	南山堂	東京		印刷中
桑名正隆	成人ステイル病	池田宇一, 大越教夫, 横田千津子	病気と薬パーフェクトガイド2008	南山堂	東京		印刷中
桑名正隆	全身性強皮症	池田宇一, 大越教夫, 横田千津子	病気と薬パーフェクトガイド2008	南山堂	東京		印刷中
石ヶ坪良明	(5) 免疫療法	杉本恒明, 矢崎義雄	内科学 第9版	朝倉書店	東京	2007	158-160
Mizuki N, Inoko H, Ohno S	Recent advance in the pathogenesis of Behçet's disease.	Bang D	Proceedings of the 9th International Conference on Behçet's Disease.				in press
水木信久	ぶどう膜炎	山口 徹, 北原光夫	今日の治療指針2005年度版	医学書院		2005	1003-1004
佐々木爽, 水木信久	眼疾患と免疫	丸尾敏夫, 久保田伸枝, 深井小久子	視能学			2005	499-504
水木信久	ベーチェット病の眼症状		ベーチェット病友の会, わだちニュース			2005	54: 4-11
大野重昭, 北市伸義, 南場研一, 猪子英俊, 水木信久, 太田正穂	ベーチェット病に対するシクロスポリン治療	シクロスポリン学術国際シンポジウム	免疫の進化, IV Autoimmune Disease -Contribution of Cyclosporin	医薬ジャーナル社	大阪	2006	196-203
水木信久	新入医局員集め奮闘記		日本の眼科77(9)			2006	1127-1129
佐々木爽, 水木信久	HLA 検査	水木信久	基礎からわかるぶどう膜炎	金原出版	東京	2006	100-104
伊藤亜紀子, 水木信久	髄液検査	水木信久	基礎からわかるぶどう膜炎	金原出版	東京	2006	108-110
上石智子, 水木信久	皮内反応	水木信久	基礎からわかるぶどう膜炎	金原出版	東京	2006	111-113
西田朋美, 水木信久	ベーチェット病	水木信久	基礎からわかるぶどう膜炎	金原出版	東京	2006	147-155
蓮見由紀子, 水木信久	乾癬に伴うぶどう膜炎	水木信久	基礎からわかるぶどう膜炎	金原出版	東京	2006	178-180
林孝彦, 水木信久	炎症性眼疾患と HLA 分子の相関		眼科プラクティス			2007	41-43
川島秀俊	前房・虹彩所見の記載法, 半定量的分類	田野保雄	眼科プラクティス「眼科所見の捉え方と描き方」	分光堂	東京	2005	270-275

ベーチェット病に関する調査研究

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
蕪城俊克, 川島秀俊	サルコイドーシス～炎症性網脈絡膜疾患をめぐる最近の話題		Ophthalmic Foresight		東京	2005	2-3
川島秀俊	ベーチェット病の眼病変(病態・診断・治療)		医学のあゆみ	医歯薬出版(株)	東京	2005	55-59
川島秀俊	皮膚・感覚器系の解剖・生理と疾病～眼	テキスト編集委員会	眼科関連 MR 研修テキスト I	医薬情報担当者教育センター	東京	2006	257-259
川島秀俊	皮膚・感覚器系の検査と治療～眼科領域	テキスト編集委員会	眼科関連 MR 研修テキスト I	医薬情報担当者教育センター	東京	2006	264-266
川島秀俊	免疫抑制剤の使い方	水木信久	すぐに役立つ眼科診療の知識.	金原出版株式会社	東京	2007	
川島秀俊	ぶどう膜の疾患.	坪田一男, 大鹿哲郎	眼科 TEXT	医歯薬出版(株)	東京	2007	
川島秀俊	トキソプラズマ症	岡田アナベル	眼科 プラクティス 「眼内炎症診療のこれから」	文光堂	東京	2007	
川島秀俊	ベーチェット病～3Cに助けられ,そして3Cを超えて		日本の眼科	日本眼科医会	東京	2007	111-115
Kohler S, Iwatsuki K, Jaffe ES, Chan JKC	Extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type	LeBoit PE, Burg G, Weeden D and Sarasin A	In Pathology and Genetics, Skin Tumours	IARC Press	Lyon	2006	191-192
Iwatsuki K, Ohtsuka M	Nasal NK-cell lymphoma preceded by a puffy eyelid and swollen cheek due to intramuscular infiltration of Epstein-Barr virus-infected cells	Burg G, Kempf W	Cutaneous Lymphomas, Unusual cases <sup>2</sup>	Steinkopff	Germany	2006	48-49
内藤真理子	歯科における QOL 評価法	花田信弘	予防歯科 YEAR BOOK 2006-2007	クインテッセンス出版	東京	2006	320-321
中村晃一郎	接触皮膚炎	山口 徹, 北原光夫	今日の治療指針2005年度版	医学書院	東京	2005	817-881
金子史男, 中村晃一郎, 古川裕利	アトピー性皮膚炎	古江増隆	アトピー性皮膚炎よりよい治療のための EBM データ集	中山書店	東京	2005	158-159
中村晃一郎	皮膚炎 アトピー性皮膚炎	矢崎義雄, 乾 賢一	薬剤師・薬学生のための臨床医学	文光堂	東京	2005	1153-1159
大野重昭, 北市伸義, 南場研一, 猪子英俊, 水木信久, 太田正穂	Behcet 病におけるシクロスポリン治療		免疫の進化—シクロスポリン 20年の軌跡—	医薬ジャーナル社	大阪	2006	196-203



## 雑 誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Powell AM, Oyama-Sakuma Y, Oyama N, Albert S, Bhogal B, Kaneko F, Nishikawa T, Black MM	Usefulness of BP180 NC16a enzyme-linked immunosorbent assay in the serodiagnosis of pemphigoid gestationis and in differentiating between pemphigoid gestationis and pruritic urticaria papules and plaques of pregnancy	Arch Dermatol	141	705-710	2005
Kawakami Y, Oyama N, Ohtsuka M, Nakamura K, Kaneko F	Increased serum levels of interleukin-6, immunoglobulin and acute phase protein in patients with the severe clinical form of inherited epidermolysis bullosa	J Dermatol	32 (6)	503-505	2005
Yanagihori H, Oyama N, Nakamura K, Kaneko F	C-kit mutations in patients with childhood-onset mastocytosis and genotype-phenotype correlation	J Mol Diagn	7 (2)	252-257	2005
Kaneko F, et al.	Biological characteristics of the sensitive Japanese skin	International Journal of Cosmetic Science	27 (1)	66-67	2005
Abe H, Kumamoto K, Hoshimo M, Utsumi Y, Takenoshita S, Kaneko F	Pericatal tuberculosis diagnosed by fine needle aspiration biopsy: Report of a case with a review of the literature	J Dermatol	32 (1)	52-57	2005
岸本和裕, 中村晃一郎, 金子史男	血漿交換療法を施行した難治性天疱瘡患者における血清, 尿液, 唾液中の抗デスマグレイン抗体価および血清総 IgG 値の変動に関する検討	日皮会誌	115 (5)	743-754	2005
金子史男	生涯教育講座, ベーチェット病 (Behcet's Disease)	日皮会誌	115 (2)	125-133	2005
金子史男, 岡部秀子, 星美智子	壊死性遊走性紅斑	Visual Dermatology	4 (2)	164-167	2005
金子史男	Behcet 病の皮膚・粘膜病変	医学のあゆみ	215 (1)	48-54	2005
金子史男, 尾山徳孝, 大塚幹夫	臨床に直結する免疫病理組織学	日皮会誌	115 (8)	1147-1153	2005
金子史男	ベーチェット病, わかりやすい免疫疾患	日本医師会雑誌特別号 (1)	199-203	2005	生涯教育 別冊
Kawakami Y, Oyama N, Nishibu A, Nakamura K, Kaneko F	A case of giant aneurismal benign fibrous histiocytoma	Clin Exp Dermatol	31 (3)	456-457	2006
Nakamura K, Kawakami Y, Oyama N, Kaneko F, Abe H, Sagara H, Ohto H	A case of sclerodermatous graft-versus-host disease following autologous peripheral blood cell transplantation	J Dermatol	33 (2)	135-138	2006
Yanagihori H, Oyama N, Nakamura K, Mizuki N, Oguma K, Kaneko F	Role of IL12B promoter polymorphism in Adamantiades-Behcet's disease susceptibility: an involvement of Th1 immunoreactivity against Streptococcus sanguinis antigen	J Invest Dermatol	126 (7)	1534-1540	2006
Oyama N, Setterfield JF, Powell AM, Sakuma-Oyama Y, Albert S, Bhogal BS, Vaughan RW, Kaneko F, Challacombe SJ, Black MM	Bullous pemphigoid antigen II (BP180) and its soluble extracellular domains are major autoantigens in mucous membrane pemphigoid: the pathogenic relevance to HLA class II alleles and disease severity	Br J Dermatol	154 (1)	90-98	2006
Chen X, Katoh Y, Nakamura K, Oyama N, Kaneko F, Endo Y, Fujita T, Nishida T, Mizuki N	Single nucleotide polymorphisms of Ficolin 2 gene in Behcet's disease	J Dermatol Sci	43 (3)	201-205	2006
金子史男, 尾山徳孝, 磯貝恵美子	ここまでわかった遺伝子異常—口内炎, ベーチェット病—	Johns	22 (12)	1757-1763	2006

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
金子史男, 尾山徳孝	Behcet 病 — Behcet 病を疑う皮疹とは？	Medicina	43 (10)	1724-1727	2006
金子史男, 尾山徳孝	皮膚免疫学入門	Cosmetic stage	1 (10)	96-98	2006
金子史男	最終講義 — Behcet 病と 口腔内レンサ球菌について—	皮膚臨床	48 (12)	1653-1660	2006
Saito M, Nakamura K, Kaneko F	Lichenoid drug eruption of nails induced by propylthiouracil	J Dermatol	34 (10)	696-698	2007
Kawakami Y, Nakamura K, Nakamura-Wakatsuki T, Ohtsuka M, Oyama N, Kaneko F	Systemic sclerosis complicated by ovarian carcinoma	J Dermatol	34 (10)	720-723	2007
Kawakami Y, Oyama N, Nakamura K, Kaneko F, Kikuta A, Suzuki H	Psoriasisform eruption associated with Graft-versus-Host disease	Acta Derm Venereol	87 (5)	436-438	2007
Sawamura D, Goto M, Nakamura H, McMillan JR, Akiyama M, Shirado O, Oyama N, Sato M, Kaneko F, Takahashi T, Konno H, Shimizu H	Possible involvement of exon 31 alternative splicing in phenotype and severity of epidermolysis bullosa caused by mutations in PLEC1	J Invest Dermatol	127 (6)	1537-1540	2007
Kulaber A, Tugal-Tutkun I, Yentur SP, Akmam-Demir G, Kaneko F, Gul A, Saruhan-Direskeneli G	Pro-inflammatory cellular immune responses in Behcet's disease	Rheumatol Int	27 (12)	1113-1118	2007
Kaneko F, Oyama N, Yanagihori H, Isogai Yokota K, Oguma K	The role of streptococcal hypersensitivity in the pathogenesis of Behcet's disease	Eur J Dermatol			in press
金子史男, 尾山徳孝	アレルギー性接触性皮膚炎	Cosmetic Stage	1 (3)	83-87	2007
金子史男, 尾山徳孝	皮膚にみられるアレルギー反応 —蕁麻疹とベーチェット病—	Cosmetic Stage	2 (4)	90-96	2007
金子史男, 尾山徳孝	ベーチェット病, DATA で読み解 く内科疾患	総合臨床	2007 増刊 56	687 (1521) -694 (1528)	2007
金子史男, 尾山徳孝	ベーチェット病に対する温清飲の 効果	Pharm Medica	25 (9)	49-51	2007
金子史男	乾癬治療ガイドライン (Guidelines of the treatment for psoriasis)	総合臨床	56 (10)	2921-2922	2007
中村聡, 大野重昭	Behcet 病による難治性ぶどう膜炎 の新しい治療法—抗 TNF $\alpha$ 抗体 療法	医学のあゆみ	215 (1)	99-103	2005
中村聡, 堀貞夫, 島川眞智子, 望月学, 杉田直, 川島秀俊, 上野聡樹, 大野重昭	ベーチェット病患者を対象とした 抗 TNF $\alpha$ 抗体の前期第 II 相臨床 試験成績	臨眼	59 (10)	1685-1689	2005
Nakamura S, Ohno S	Anti-tumor necrosis factor alpha antibody in the treatment of Behcet's disease.	Int Ophthalmol Clin	45 (2)	179-189	2005
Kitaichi N, Ohno S	[Behçet's disease]	Nippon Rinsho	63 (5)	376-380	2005
Goda C, Kotake S, Ichijishi A, Namba K, Kitaichi N, Ohno S	Clinical features in tubulointerstitial nephritis and uveitis(TINU)syndrome.	Am J Ophthalmol	140 (4)	637-641	2005
Shiratori K, Ohgami K, Ilieva B.I, Xue-Hai Jin, Yoshida K, Kase S, Ohno S	The effects of naringin and naringenin on endotoxin-induced uveitis in rats.	J Ocul Pharmacol Ther	21 (4)	298-304	2005

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
南場研一, 大野重昭	【非感染性ぶどう膜炎治療の最先端】生物学的製剤(解説)	あたらしい眼科	23 (11)	1409-1414	2006
Kase S, Kitaichi N, Namaba K, Miyazaki A, Yoshida K, Ishikura K, Ikeda M, Nakashima T, Ohno S	Elevation of serum KL-6 levels in patients with tubulointerstitial nephritis and uveitis(TINU)syndrome.	Am J Kidney Dis	48 (6)	935-941	2006
Kitamei M, Iwabuchi K, Namba K, Yoshida K, Yanagawa Y, Kitaichi N, Kitamura M, Ohno S, Onoe K	Amelioration of experimental autoimmune uveoretinitis(EAU)with an inhibitor of nuclear factor kappa B(NF-kappaB), pyrrolidine dithiocarbamate.	J Leukocyte Biol	79 (6)	1193-1201	2006
Jin X H, Ohgami K, Shiratori K, Suzuki Y, Hirano T, Koyama Y, Yoshida K, Ilieva I, Iseki K, Ohno S	Inhibitory effects of lutein on endotoxin-induced uveitis in lewis rats.	Invest Ophthalmol Vis Sci	47 (6)	2562-2568	2006
Suzuki Y, Ohgami K, Shiratori K, Jin X H, Ilieva I, Koyama Y, Yazawa K, Yoshida K, Kase S, Ohno S	Suppressive effects of astaxanthin against rat endotoxin-induced uveitis by inhibiting the NF- $\kappa$ B signaling pathway.	Exp Eye Res	82 (2)	275-281	2006
Itoh Y, Inoko H, Kulski JK, Sasaki S, Meguro A, Takiyama N, Nishida T, Yuasa T, Ohno S, Mizuki N	Four-digit allele genotyping of the HLA-A and HLA-B genes in Japanese patients with Behcet's disease by a PCR-SSOP-Luminex method.	Tissue Antigens	67 (5)	390-394	2006
Namba K, Sonoda KH, Kitamei H, Shiratori K, Ariyama A, Iwabuchi K, Onoe K, Saniabadi AR, Inaba S, Ishibashi T, Ohno S	Granulocytapheresis in patients with refractory ocular Behcet's disease.	J Clin Apher	21 (2)	121-128	2006
Goda C, Kanaji T, Kanaji S, Tanaka G, Arima K, Ohno S, Izuhara K	Involvement of IL-32 in activation-induced cell death in T cells.	Int Immunol	18 (2)	233-240	2006
Ilieva I, Ohgami K, Jin X H, Suzuki Y, Shiratori K, Yoshida K, Kase S, Ohno S	Captopril suppresses inflammation in endotoxin-induced uveitis in rats.	Exp Eye Res	83	651-657	2006
Ito A, Ota M, Katsuyama Y, Inoko H, Ohno S, Mizuki N	Lack of association of Toll-like receptor 9 gene polymorphism with Behcet's disease in Japanese patients.	Tissue Antigens			in press
Kitamura M, Iwabuchi K, Kitaichi N, Kon S, Kitamei H, Namba K, Yoshida K, Denhardt T. D, Rittling R. Susan, Ohno S, Uede T, Onoe K	Osteopontin aggravates experimental autoimmune uveoretinitis in mice.	J Immunol	178 (10)	6567-6572	2007
Goto H, Mochizuki M, Yamaki K, Kotake S, Usui M, Ohno S	Epidemiological survey of intraocular inflammation in Japan.	Jpn J Ophthalmol	51	41-44	2007
Kitamei H, Kitaichi N, Yoshida K, Nakai A, Fujimoto M, Kitamura M, Iwabuchi K, Miyazaki A, Namba K, Ohno S, Onoe K	Association of heat shock protein 70 induction and the amelioration of experimental autoimmune uveoretinitis in mice.	Immunobiology	212 (1)	11-18	2007
Kase S, Namba K, Horie Y, Kotake S, Ohno S	Repeated exacerbations of ocular inflammation with vitreous hemorrhage in a patient with HLA-B27 associated uveitis.	J Med Invest	54 (3,4)	350-353	2007
小野江和則	T細胞免疫系の成立と生体内役割.	日本病理学会誌	94 (2)	23-39	2005
藤井 聡, 岩瀬和也, 中井之人, 三島鉄也, 北島 顕, 小野江和則	動脈硬化病巣進展に果たすNKT細胞の役割.	脈管学	45 (11)	359-364	2005

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yanagawa Y, <u>Onoé K</u>	CCR7 ligands induce interconnected ruffles of actin filaments in mature dendritic cells that are associated with vigorous endocytosis.	J Clin Exp Hematop	45 (1)	25 - 35	2005
Kikuchi K, Yanagawa Y, <u>Onoé K</u>	CCR7 Ligands-enhanced phago-cytosis of various antigens in mature dendritic cells -Time course and antigen distribution different from phagocytosis in immature dendritic cells.	Microbiol Immunol	49 (6)	535 - 544	2005
Minami K, Yanagawa Y, Iwabuchi K, Shinohara N, Harabayashi T, Nonomura K, <u>Onoé K</u>	Negative feed back regulation of T helper type 1(Th1)/Th2 cytokine balance via dendritic cell and natural killer T cell interactions.	Blood	106 (5)	1685 - 1693	2005
Mitsuhashi S, Shima H, Tanuma N, Sasa S, <u>Onoé K</u> , Ubukata M, Kikuchi K	Protein phosphatase type 2A, PP2A, is involved in degradation of gp130.	Mol Cell Biochem	269 (1-2)	183 - 187	2005
Iijima N, Yanagawa Y, Clingan JM, <u>Onoé K</u>	CCR7-mediated c-Jun N-terminal kinase activation regulates cell migration in mature dendritic cells. Int Immunol.	Int Immunol	17 (9)	1201 - 1212	2005
Yamada H, Shimada S, Morikawa M, Iwabuchi K, Kishi R, <u>Onoé K</u> , Minakami H	Divergence of natural killer cell receptor and related molecule in the deciduas from sporadic miscarriage with normal chromosome karyotype.	Mol Hum Reprod	11 (6)	451 - 457	2005
Kitamura M, Kitaichi N, Takeuchi M, Kitamei H, Namba K, Yamagishi S, Iwabuchi K, <u>Onoé K</u> , Ohno S	Decrease in the glyceraldehyde-derived advanced glycation end products(AGEs)in the sera of patients with Vogt-Koyanagi-Harada's disease.	Brit J Ophthalmol	89 (11)	1407 - 9	2005
柳川芳毅, 三浪圭太, 岩渕和也, <u>小野江和則</u>	Th1/Th2サイトカイン産生の樹状細胞・NKT細胞を介する negative feedback.	臨床免疫	45 (3)	359 - 364	2006
<u>小野江和則</u>	自然免疫, 獲得免疫とアレルギー	アレルギーの臨床	26 (8)	579	2006
Yanagawa Y, <u>Onoé K</u>	Distinct regulation of CD40-mediated interleukin(IL)-6 and IL-12 production via mitogen-activated protein kinase(MAPK)and nuclear factor $\kappa$ B inducing kinase(NIK)in mature dendritic cells.	Immunology	117 (4)	526 - 535	2006
Jin XH, Ohgami K, Shiratori K, Suzuki Y, Koyama Y, Yoshida K, Ilieva I, Tanaka T, <u>Onoé K</u> , Ohno S	Effects of blue honeysuckle(Lonicera caerulea L.)extract on lipopolysaccharide-induced inflammation in vitro and in vivo.	Exp Eye Res	82 (5)	860 - 867	2006
Naito M, Yamazaki T, Tsutsumi R, Higashi H, <u>Onoé K</u> , Yamazaki S, Azuma T, Hatakeyama M	Influence of EPIYA-repeat polymorphism on the phosphorylation-dependent biological activity of <i>Helicobacter pylori</i> CagA.	Gastroenterology	130 (4)	1181 - 90	2006
Kitamei H, Iwabuchi K, Yanagawa Y, Yoshida K, Namba K, Kitaichi N, Kitamura M, Ohno S, <u>Onoé K</u>	Amelioration of experimental autoimmune uveoretinitis(EAU)with an inhibitor of nuclear factor $\kappa$ B(NF- $\kappa$ B), pyrrolidine dithiocarbamate.	J Leukoc Biol	79 (6)	1193 - 1201	2006
Shimada S, Nishida R, Takeda M, Iwabuchi K, Kishi R, <u>Onoé K</u> , Minakami H, Yamada H	Natural killer, natural killer T, helper and cytotoxic T cells in the decidua from sporadic miscarriage.	Am J Reprod Immunol	56 (3)	193 - 200	2006
Andoh Y, Fujii S, Iwabuchi K, Yokota T, Inoue N, Nakai Y, Mishima T, Yamashita T, Nakagawa T, Kitabatake A, <u>Onoé K</u> , Tsutsui H	Lower prevalence of circulating natural killer T cells in patients with angina: a potential novel marker for coronary artery disease.	Coronary Art Dis	17 (6)	523 - 528	2006

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Namba K, Sonoda KH, Kitamei H, Shiratori K, Ariyama A, Iwabuchi K, Onoé K, Saniabadi AR, Inaba S, Ishibashi T, Ohno S	Granulo-cytopheresis in patients with refractory ocular Behçet's disease.	J Clin Apher.	21 (2)	121-128	2006
Takagi D, Iwabuchi K, Maeda M, Nakamaru Y, Furuta Y, Fukuda S, Van Kaer L, Nishihira J, Onoé K	Natural killer T cells ameliorate antibody-induced arthritis in macrophage migration inhibitory factor transgenic mice.	Int J Mol Med	18 (5)	829-836	2006
Chan C-FR, Wang M, Li N, Yanagawa Y, Onoé K, Lee JJ, Nel AE	Pro-oxidative diesel exhaust particle chemicals inhibit LPS-induced dendritic cell responses involved in T-helper differentiation.	J Allergy Clin Immunol	118 (2)	455-465	2006
Clingan JM, Yanagawa Y, Iwabuchi K, Onoé K	Effect of T helper 1(Th1)/Th2 cytokine on chemokine-induced dendritic cell functions.	Cell Immunol	242 (2)	72-79	2006
北村 瑞, 小野江和則, 上出利光, 大野重昭	オステオポンチンの自己免疫疾患発症への関与.	臨床免疫・アレルギー科	47 (3)	285-289	2007
水内一臣, 柳川芳毅, 岩淵和也, 南場研一, 小野江和則, 大野重昭	CpG 反応樹状細胞による NKT 細胞からの IL-4 産生誘導.	臨床免疫・アレルギー科	48 (3)	236-242	2007
柳川芳毅, 前田昌己, 小野江和則	IL-21 による樹状細胞機能の修飾.	臨床免疫・アレルギー科	48 (3)	243-249	2007
Nyambayar D, Iwabuchi K, Hedlund E, Murakawa S, Shirai K, Iwabuchi C, Yanagawa Y, Onoé K	Characterization of NKT-cell hybridomas expressing invariant T-cell antigen receptors.	J Clin Exp Hematop	47 (1)	1-8	2007
Kitamei H, Kitaichi N, Yoshida K, Nakai A, Fujimoto M, Kitamura M, Iwabuchi K, Miyazaki A, Namba K, Ohno S, Onoé K	Association of heat shock protein 70 induction and the amelioration of experimental auto-immune uveoretinitis in mice.	Immunobiol	212 (1)	11-18	2007
Yanagawa Y, Onoé K	Enhanced IL-10 production by TLR4 and TLR2 primed dendritic cells upon TLR restimulation.	J Immunol	178 (10)	6173-80	2007
Kitamura M, Iwabuchi K, Kitaichi N, Kon S, Kitamei H, Namba K, Yoshida K, Denhardt D, Rittling S, Ohno S, Uede T, Onoé K	Osteopontin aggravates experimental autoimmune uveoretinitis in mice.	J Immunol	178 (10)	6567-72	2007
Maeda M, Yanagawa Y, Iwabuchi K, Minami K, Nakamaru Y, Takagi D, Fukuda S, Onoé K	IL-21 enhances dendritic cell ability to induce interferon- $\gamma$ production by natural killer T cells.	Immunobiol	212 (7)	537-547	2007
Ono T, Yanagawa Y, Iwabuchi K, Nonomura K, Onoé K	Glycogen synthase kinase 3 activity during development of bone marrow-derived dendritic cells(DC)essential for the DC function to induce T helper 2 polarization.	Immunology	122 (2)	189-198	2007
Onoé K, Yanagawa Y, Minami K, Iijima N, Iwabuchi K	Th1 or Th2 balance regulated by interaction between dendritic cells and NKT cells.	Immunol Res	38 (1-3)	319-32	2007
Takeda M, Yamada H, Iwabuchi K, Shimada S, Naito M, Sakuragi N, Minakami H, Onoé K	Administration of high-dose intact immunoglobulin has an anti-resorption effect in a mouse model of reproductive failure.	Mol Hum Reprod	13 (11)	807-14	2007
Mizuuchi K, Yanagawa Y, Iwabuchi K, Namba K, Kitaichi N, Ohno S, Onoé K	H-2D <sup>d</sup> -mediated upregulation of IL-4 production by natural killer T cell and dendritic cell interaction.	Immunology			in press

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Mishima T, Iwabuchi K, Fujii S, Tanaka S, Ogura H, Watano-Miyata K, Ishimori N, Andoh Y, Nakai Y, Iwabuchi C, Ato M, Kitabatake A, Tsutsui H, Onoé K	Allograft inflammatory factor-1 augments macrophage phagocytic activity and accelerates the progression of atherosclerosis in ApoE <sup>-/-</sup> mice.	Int J Mol Med			in press
Miyazaki Y, Iwabuchi K, Iwata D, Miyazaki A, Kon Y, Niino M, Kikuchi S, Yanagawa Y, van Kaer L, Sasaki H, Onoé K	Effect of western diet on NKT cell function and NKT cell-mediated regulation of Th1 response.	Scand J Immunol			in press
Miyazaki A, Kitaichi N, Ohgami K, Iwata D, Jin X-H, Iwabuchi K, Morohashi T, Ohno S, Onoé K	Anti-inflammatory effect of angiotensin type1 receptor antagonist on endotoxin-induced uveitis in rats.	Graef Arch Clin Exp Ophthalmol			in press
Matsuzaka Y, Okamoto K, Mabuchi T, Iizuka M, Ozawa A, Oka A, Tamiya G, Kulski JK, Inoko H	Identification and characterization of novel variants of the thioredoxin reductase 3 new transcript TXNRD3NT1.	Mamm Genome	16	41-49	2005
Ando A, Ota M, Sada M, Katsuyama Y, Goto R, Shigenari A, Kawata H, Anzai T, Iwanaga T, Miyoshi Y, Fujimura N, Inoko H	Rapid assignment of the swine major histocompatibility complex(SLA)class I and II genotypes in Clawn miniature swine using PCR-SSP and PCR-RFLP methods.	Xenotransplantation	12	121-126	2005
Shiina T, Dijkstra JM, Shimizu S, Watanabe A, Yanagiya K, Kiryu I, Fujiwara A, Nishida-Umehara C, Kaba Y, Hirono I, Yoshiura Y, Aoki T, Inoko H, Kulski JK, Ototake M	Interchromosomal duplication of major histocompatibility complex class I regions in rainbow trout(Oncorhynchus mykiss), a species with a presumably recent tetraploid ancestry.	Immunogenetics	56	878-893	2005
Katoh T, Munkhbat B, Tounai K, Mano S, Ando H, Oyungerel G, Chae GT, Han H, Jia GJ, Tokunaga K, Munkhtuvshin N, Tamiya G, Inoko H	Genetic features of Mongolian ethnic groups revealed by Y-chromosomal analysis.	Gene	346	63-70	2005
Suzuki K, Tanaka H, Sahara H, Tanaka N, Tamura Y, Naruse T, Inoko H, Tsushima K, Kubo K, Abe S, Sato N	HLA class II DPB1, DQA1, DQB1, and DRB1 genotypic associations with occupational allergic cough to Bunashimeji mushro.	T issue Antigens	65	459-466	2005
Kikkawa EF, Tsuda TT, Naruse TK, Sumiyama D, Fukuda M, Kurita M, Murata K, Wilson RP, Lemaho Y, Tsuda M, Kulski JK, Inoko H	Analysis of the sequence variations in the Mhc DRB1-like gene of the endangered Humboldt penguin(Spheniscus humboldti).	Immunogenetics	57	99-107	2005
Fukami-Kobayashi K, Shiina T, Anzai T, Sano K, Yamazaki M, Inoko H, Tateno Y	Genomic evolution of MHC class I region in primates.	Proc Nat Acad Sci USA	102	9230-9234	2005
Tamiya G, Shinya M, Imanish T, Ikuta T, Makino S, Okamoto K, Furugaki K, Matsumoto T, Mano S, Ando S, Nozaki Y, Yukawa W, Nakashige R, Yamaguchi D, Ishibashi H, Yonekura M, Nakami Y, Takayama S, Endo T, Saruwatari T, Yagura M, Yoshikawa Y, Fujimoto K, Oka A, Chiku S, Linsen SEV, Giphart MJ, Kulski JK, Fukazawa T, Hashimoto H, M Kimura, Hoshina Y, Suzuki Y, Hotta T, Mochida J, Minezaki T, Komai K, Shiozawa S, Taniguchi A, Yamanaka H, Kamatani N, Gojobori T, Bahram S, Inoko H	Whole genome association study of rheumatoid arthritis using 27,039 microsatellites.	Hum Mol Genetics	14	2305-2321	2005

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kulski JK, Anzai T, <u>Inoko H</u>	ERV K9, transposons and the evolution of MHC class I duplicons within the alpha-block of the human and chimpanzee.	Cytogenetic and Genome Research	110	181-192	2005
Shichi D, Kikkawa EF, Ota M, Katsuyama Y, Kimura A, Matsumori A, Kulski JK, Naruse TK, <u>Inoko H</u>	The haplotype block, NFKBIL1-ATP6V1G2-BAT1-MICB-MICA, within the class III - class I boundary region of the human major histocompatibility complex may control susceptibility to hepatitis C virus-associated dilated cardiomyopathy.	Tissue Antigens	66	200-208	2005
Katoh T, Mano S, Munkhbat B, Tounai K, Oyungerel G, Chae GT, Han H, Jia GJ, Tokunaga K, Munkhtuvshin N, Tamiya G, <u>Inoko H</u>	Genetic features of Khoton Mongolians revealed by SNP analysis of the X chromosome.	Gene	357	95-102	2005
Itoh Y, Mizuki N, Shimada T, Azuma F, Itakura M, Kashiwase K, Kikkawa E, Kulski JK, Satake M, <u>Inoko H</u>	High-throughput DNA typing of HLA-A, -B, -C, and -DRB1 loci by a PCR-SSOP-Luminex method in the Japanese population.	Immunogenetics	57	1-13	2005
Bahram S, <u>Inoko H</u> , Shiina T, Radosavljevic M	MIC and other NKG2D ligands: from none to too many.	Curr Opin Immunol	17	505-509	2005
Kimura T, Yoshida K, Shimada A, Jindo T, Sakaizumi M, Mitani H, Naruse K, Takeda H, <u>Inoko H</u> , Tamiya G, Shinya M	Genetic linkage map of medaka with polymerase chain reaction length polymorphisms.	Gene	363	24-31	2005
Ogawa Y, Kodama H, Kameyama K, Yamazaki K, Yasuoka H, Okamoto S, <u>Inoko H</u> , Kawakami Y, Kuwana M	Donor fibroblast chimerism in the pathogenic fibrotic lesion of human chronic graft-versus-Host disease.	Investigative Ophthalmology & Visual Science	46	4519-4527	2005
Kulski JK, Kenworthy W, Bellgard M, Taplin R, Okamoto K, Oka A, Mabuchi T, Ozawa A, Tamiya G, <u>Inoko H</u>	Gene expression profiling of Japanese psoriatic skin reveals an increased activity in molecular stress and immune response signals.	J Mol Med	83	964-975	2005
Mizutani A, Ostuka M, Kimira M, Tanaka M, <u>Inoko H</u>	An EYFP insertion mutant containing a modified lox sequence for potential use as a recombination indicator.	Nucleic Acid Symposium Series	49	297-298	2005
Ando A, Shigenari A, Kulski JK, Renard C, Chardon P, Shiina T, <u>Inoko H</u>	Genomic sequence analysis of the 238-kb swine segment with a cluster of TRIM and olfactory receptor genes located, but with no class I genes, at the distal end of the SLA class I region.	Immunogenetics	57	864-873	2005
細道一善, 椎名隆, 清水佐良子, 原ひろみ, 吉田豊, 猪子英俊, 半澤恵	ニホンウズラ Mhc(CoJa) 領域における多型マーカーの設定	MHC	11	241-251	2005
Bahram S, <u>Inoko H</u> , Shiina T, Radosavljevic M	MIC and other NKG2D ligands: from none to too many.	Curr Opin Immunol			2005
椎名隆, 猪子英俊	T細胞への抗原提示機構—HLA遺伝子領域とその多様性	日本臨床	63	293-298	2005
池脇信直, 猪子英俊	Aureobasidium pululans から産生され $\beta$ -1.3-1.6グルカン を免疫して得られたマウス腹腔産生細胞	臨床免疫	43	467-471	2005
猪子英俊	21世紀 COE プログラム「ヒト複合形質の遺伝要因とその制御分子探索」	蛋白質核酸酵素	50	1014-1015	2005
鬼塚真仁, 成瀬妙子, 猪子英俊	HLA と移植	日本臨床	63	653-658	2005

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
岡見, 猪子英俊	多因子遺伝病としての乾癬	最新医学 (増刊臨床遺伝学05)	60	2180-2190	2005
鬼塚真仁, 吉川枝里, 猪子英俊	臓器移植とHLAタイピング (血清学的検査法と遺伝子検査)	日本臨床	63	1945-1949	2005
Ikewaki I, Kulski JK, Inoko H	Regulation of CD93 cell surface expression by protein kinase C isoenzyme.	Microbiol Immunol	50	93-103	2006
Sano K, Shiina T, Kohara S, Yanagiya K, Hosomiya K, Shimizu S, Anzai T, Watanabe A, Ogasawara K, Torii R, R, Kulski JK, Inoko H	Novel cynomolgus macaque MHC-DPB1 polymorphisms in three South-East Asian populations.	Tissue Antigens	67	297-306	2006
Ohtsuka M, Ishii K, Kikuti YY, Warita T, Suszuki D, Sato D, Kimura M, Inoko H	Construction of mouse 129/Ola BAC library for the targeting experiments using E14 embryonic stem cells.	Genes Genet Syst	81	143-146	2006
Koishi S, Yamamoto K, Matsumoto H, Koishi S, Enseki Y, Oya A, Asakura A, Aoki Y, Atsumi M, Atsumi M, Iga T, Inomata J, Inoko H, Sasaki T, Nanba E, Kato N, Ishii T, Yamazaki K	Serotonin transporter gene promoter polymorphism and autism: a family-based genetic association study in Japanese population.	Brain Development	28	257-260	2006
Itoh Y, Inoko H, Kulski JK, Sasaki S, Meguro A, Takiyama N, Nishida T, Yuasa T, Ohno S, Mizuki N	Four-digit allele genotyping of the HLA-A and HLA-B genes in Japanese patients with Behcet's disease by a PCR-SSOP-Luminex method.	Tissue Antigens	67	390-394	2006
Luo M, Kim H, Kudrna D, Sisneros NB, Lee SJ, Mueller C, Collura K, Zuccolo A, Buckingham EB, Grim SM, Yanagiya K, Inoko H, Shiina T, Flajnik MF, Wing RA, Ohta Y	Construction of a nurse shark (Ginglymostoma cirratum) bacterial artificial chromosome (BAC) library and a preliminary genome survey.	BMC Genomics	7	106	2006
Nakanishi K, Inoko H	Combination of HLA-A*24, -DQA1*03, and -DR9 contributes to acute-onset and early complete {beta}-cell destruction in type 1 diabetes longitudinal study of residual {beta}-cell function.	Diabetes	55	1862-1868	2006
Renard C, Hart WE, Sehra HK, Beasley HR, Coggill PC, Howe KL, Harrow JL, Gilbert JGR, Sims S, Rogers JR, Ando A, Shigenar A, Shiina T, Inoko H, Chardon P, Beck S	The Genomic Sequence and Analysis of the Swine Major Histocompatibility Complex.	Genomics	88	96-110	2006
Shiina T, Ota M, Shimizu S, Katsuyama Y, Hashimoto N, Takasu M, Anzai T, Kulski JK, Kikkawa E, Naruse T, Kimura N, Yanagiya K, Watanabe A, Hosomichi K, Kohara S, Iwamoto C, Umehara Y, Meyer A, Wanner V, Sano K, Macquin C, Ieko K, Tokunaga K, Gojobori T, Inoko H, Bahram S	Rapid evolution of MHC class I genes in primates generates new disease alleles in man via hitchhiking diversity.	Genetics	173	1555-1570	2006
Dunn DS, Inoko H, Kulski JK	The association between non-melanoma skin cancer and a young dimorphic Alu element within the major histocompatibility complex class I genomic region.	Tissue Antigens	68	127-134	2006
Kawashima M, Tamiya G, Oka A, Hohjoh H, Juji T, Ebisawa T, Honda Y, Inoko H, Tokunaga K,	Genomewide association analysis of human narcolepsy and a new resistance gene.	Am J Hum Genet	79	252-263	2006



発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hasumi Y, Inoko H, Mano S, Ota M, Okada E, Kulski JK, Nishizaki R, Mok J, Oka A, Kumagai N, Nishida T, Ohno S, Mizuki N.	Analysis of single nucleotide polymorphisms at 13 loci within the transforming growth factor-induced factor gene shows no association with high myopia in Japanese subjects.	Immunogenetics.	58	947-953	2006
Horie Y, Takemoto Y, Miyazaki A, Namba K, Kase S, Yoshida K, Ota M, Hasumi Y, Inoko H, Mizuki N, Ohno S	Tyrosinase gene family and Vogt-Koyanagi-Harada disease in Japanese patients.	Mol Vis	12	1601-1605	2006
Hosomichi K, Shiina T, Suzuki S, Tanaka M, Shimizu S, Iwamoto S, Hara H, Yoshida Y, Kulski JK, Inoko H, Hanzawa K.	The major histocompatibility complex(Mhc)class IIB region has greater genomic structural flexibility and diversity in the quail than the chicken.	BMC Genomics	7	322	2006
渡辺浩彦, 田村出, 石河弘伸, 木下勝治, 田中重里佐, 假野隆司, 吉川枝里, 猪子英俊, 森崇英	同種免疫性流産患者における HLA- と HLA-E 遺伝子多型の解析	産婦の進歩	58	136-146	2006
鬼塚真仁, 菊池智樹, 李素雲, 猪子英俊	マイクロサテライト多型とマイナー組織適合抗原	分子細胞治療	5	76-79	2006
椎名隆, 猪子英俊	比較ゲノム解析による HLA 領域の進化	分子細胞治療	6	51-55	2006
Yasuno K, Ando S, Misumi S, Makino S, Kulski JK, Muratake T, Kaneko N, Amagane H, Someya T, Inoko H, Suga H, Kanemoto K, Tamiya G.	Synergistic association of mitochondrial uncoupling protein(UCP)genes with schizophrenia.	Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	144	250-253	2007
Ota M, Katsuyama Y, Hamano H, Umemura T, Kimura A, Yoshizawa K, Kiyosawa K, Fukushima H, Bahram S, Inoko H, Kawa S.	Two critical genes(HLA-DRB1 and ABCF1)in the HLA region are associated with the susceptibility to autoimmune pancreatitis.	Immunogenetics	59	45-52	2007
Ohtsuka M, Mizutani A, Kikuti YY, Kulski JK, Sato M, Kimura M, Tanaka M, Inoko H.	One-step generation of recombinering constructs by asymmetric-end ligation and negative selection.	Anal Biochem	360	306-308	2007
Kikuchi T, Naruse TK, Onizuka M, Li S, Kimura T, Oka A, Morishima Y, Kulski JK, Ichimiya S, Sato N, Inoko H	Mapping of susceptibility and protective loci for acute GVHD in unrelated HLA-matched bone marrow transplantation donors and recipients using 155 microsatellite markers on chromosome.	Immunogenetics	22 (59)	99-108	2007
Reinders J, Rozemuller EH, van der Weide P, Oka A, Slootweg PJ, Inoko H, Tilanus MG	Genes in the HLA region indicative for head and neck squamous cell carcinoma.	Mol Immunol	44	848-855	2007
Watanabe A, Shiina T, Shimizu S, Hosomichi K, Yanagiya K, Kita YF, Kimura T, Soeda E, Torii R, Ogasawara K, Kulski JK, Inoko H	A BAC-based contig map of the cynomolgus macaque(Macaca fascicularis)major histocompatibility complex genomic region.	Genomics	89	402-412	2007
Bahram S, Inoko H	Microsatellite markers for genome-wide association studies.	Nature Reviews Genetics	8	164	2007
Yatsu K, Mizuki N, Hirawa N, Oka A, Itoh N, Yamane T, Ogawa M, Shiwa T, Tabara Y, Ohno S, Soma M, Hata A, Nakao K, Ueshima H, Ogiwara T, Tomoike H, Miki T, Kimura A, Mano S, Kulski JK, Umemura S, Inoko H	High-resolution mapping for essential hypertension using microsatellite markers.	Hypertension	49	446-452	2007

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Morishima Y, Yabe T, Matsuo K, Kashiwase K, Inoko H, Saji H, Yamamoto K, Maruya E, Akatsuka Y, Onizuka M, Sakamaki H, Sao H, Ogawa S, Kato S, Juji T, Sasazuki T, Kodera Y.	Effects of HLA allele and killer immunoglobulin-like receptor ligand matching on clinical outcome in leukemia patients undergoing transplantation with T-cell-replete marrow from an unrelated donor.	Biol Blood Marrow Transplant	13	315-328	2007
Dijkstra JM, Katagiri T, Hosomichi K, Yanagiya K, Inoko H, Ootake M, Aoki T, Hashimoto K, Shiina T	A third broad lineage of major histocompatibility complex(MHC)class I in teleost fish; MHC class II linkage and processed genes.	Immunogenetics	59	305-321	2007
Hayashi T, Inoko H, Nishizaki R, Ohno S, Mizuki N	Exclusion of transforming growth factor-beta1 as a candidate gene for myopia in the Japanese.	Jpn J Ophthalmol	51	96-99	2007
Shiina T, Briles WE, Goto RM, Hosomichi K, Yanagiya K, Shimizu S, Inoko H, Miller MM	Extended gene map reveals tripartite motif, C-type lectin, and Ig superfamily type genes within a subregion of the chicken MHC-B affecting infectious disease.	J Immunol	178	7162-7172	2007
Tanaka T, Kitamura H, Sahara H, Imai A, Itoh Y, Honma I, Sato E, Kobayashi K, Maeda T, Takenouchi M, Ohta K, Sugawara F, Sakaguchi K, Ando A, Inoko H, Sato N, Tsukamoto T	Effects of a new immunosuppressive agent, beta-SQAG9, in swine kidney transplantation.	Transpl Immunol	18	67-71	2007
Kawase T, Akatsuka Y, Torikai H, Morishima S, Oka A, Tsujimura A, Miyazaki M, Tsujimura K, Miyamura K, Ogawa S, Inoko H, Morishima Y, Kodera Y, Kuzushima K, Takahashi T	Alternative splicing due to an intronic SNP in HMSD generates a novel minor histocompatibility antigen.	Blood	110	1055-1063	2007
Kawase T, Morishima Y, Matsuo K, Kashiwase K, Inoko H, Saji H, Kato S, Juji T, Kodera Y, Sasazuki T	High-risk HLA allele mismatch combinations responsible for severe acute graft versus host disease and implication for its molecular mechanism.	Blood	110	2235-2241	2007
Inamori Y, Ota M, Inoko H, Okada E, Nishizaki R, Shiota T, Mok J, Oka A, Ohno S, Mizuki N:	The COL1A1 gene and high myopia susceptibility in Japanese.	Hum Genet	122	151-157	2007
Ikwaki N, Fujii N, Onaka T, Ikwaki S, Inoko H	Immunological actions of Sophy $\beta$ -Gllucan( $\beta$ -1,3-1,6 Gulucan), currently available commercially as a health food supplement.	Micorbiol Immunol	51	861-873	2007
Kano T, Mori T, Furudono M, Ishikawa H, Watanabe H, Kikkawa E, Warita T, Onizuka M, Takahashi M, Maeda Y, Naruse T, Inoko H, Kimura A	Human leukocyte antigen may predict outcome of primary recurrent spontaneous abortion treated with paternal lymphocyte alloimmunization therapy.	Am J Reprod Immunol	58	383-387	2007
Ito A, Ota M, Katsuyama Y, Inoko H, Ohno S, Mizuki N	Lack of association of Toll-like receptor 9 gene polymorphism with Behcet's disease in Japanese patients.	Tissue Antigens	70	423-426	2007
Shimada M, Onizuka M, Machida S, Suzuki R, Kojima M, Miyamura K, Kodera Y, Inoko H, Ando K	Association of autoimmune disease-related gene polymorphisms with chronic graft-versus-host disease.	Br J Haematol	139	458-463	2007
Ota M, Fukushima H, Kulski JK, Inoko H	Single nucleotide polymorphism detection by polymerase chain reaction-restriction fragment length polymorphism.	Nature Protoc	11	2857-2864	2007

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
0 Sasaki S, Ota M, Nishizuka R, Okada E, Mok J, Kimura T, Oka A, Katsuyama Y, Ohono S, Inoko H, Mizuki N	A single nucleotide polymorphism analysis of the LAMAAl gene in Japanese patients with high myopia.	Clinical Ophthalmology	1	289-295	2007
目黒明, 水木信久, 猪子英俊	ベーチェット病	リウマチ科	37	232-237	2007
炭山大輔, 猪子英俊	主要組織適合性遺伝子複合体	血液・腫瘍科 (Supple. 5, 造血幹細胞移植のすべて 特別増刊号)	55	88-99	2007
Kurauchi T, Yokota K, Matuo T, Fujinami Y, Isogai E, Isogai H, Ohtsuki H, Oguma K	Neutrophil and lymphocyte responses to oral <i>Streptococcus</i> in Adamantiades-Behcet's disease	FEMS Immunol Med Microbiol	43 (2)	125-131	2005
Isogai E, Makungu C, Yabe J, Sinkala P, Nambota A, Isogai H, Fukushi H, Silungwe M, Mubita C, Syakalima M, Hang'ombe B M, Kozaki S, Yasuda J	Detection of <i>Salmonella</i> invA by isothermal and chimeric primer-initiated amplification of nucleic acids(ICAN)in Zambia	Comp Immunol Microbiol Inf Dis	28	363-370	2005
Isogai E, Silungwe M, Sinkala P, Chisenga C, Mubita C, Syakalima M, Hang'ombe B M, Makungu C, Yabe J, Simuunza M, Nambota A, Isogai H, Fukushi H, Yasuda J	Rapid detection of <i>Salmonella</i> on commercial carcasses by using isothermal and chimeric primer-initiated amplification of nucleic acids(ICAN)-enzyme-linked immunosorbent assay(ELISA)in Zambia	Intern J Appl Res Vet Med	3 (4)	367-371	2005
Takaya A, Suzuki A, Kikuchi Y, Eguchi M, Isogai E, Tomoyasu T, Yamamoto T	Derepression of <i>Salmonella</i> pathogenicity island 1 genes within macrophages leads to rapid apoptosis via caspase-1- and caspase-3-dependent pathways	Cellular Microbiology	7 (1)	79-90	2005
Takaya A, Kubota Y, Isogai E, Yamamoto T	Degradation of the HilC and HilD regulator proteins by ATP-dependent Lon protease leads to down-regulation of <i>Salmonella</i> pathogenicity island 1 gene expression	Molecular Microbiology	55 (3)	839-852	2005
Kawahara M, Rikihisa Y, Lin Q, Isogai E, Tahara K, Itagaki A, Hiramitsu Y, Tajima T.	Novel genetic variants of <i>Anaplasma phagocytophilum</i> , <i>Anaplasma bovis</i> , <i>Anaplasma centrale</i> , and a Novel Ehrlichia sp. in wild deer and ticks on two major islands in Japan	Appl Environ Microbiol	72 (2)	1102-1109	2006
磯貝 浩, 磯貝恵美子, 奥村一彦, 広瀬公治	乳酸菌の菌体成分および誘導物質による生き残り戦略	Jpn. J. Lactic Acid Bacteria	17 (1)	40-46	2006
金子史男, 尾山徳孝, 磯貝恵美子	口内炎, ベーチェット病	JOHNS	22 (12)	1757-1763	2006
磯貝恵美子, 小林美智代, 奥村一彦, 磯貝 浩, 樽林陽一, 林 俊治	歯科病院環境の真菌学的検討—病院環境における <i>Stachybotrys chartarum</i> , <i>Aspergillus niger</i> , <i>Chaetomium funicola</i> の分離	環境感染	22 (4)	in press	2007
Mizugai H, Isogai E, Hirose K, Chiba I.	Effect of denture wearing on occurrence of <i>Candida</i> species in the oral cavity.	J Appl Res	7 (3)	250-254	2007
磯貝恵美子, 西川武志, 磯貝 浩, 磯貝なゆた, 樽林陽一, 林 俊治	家庭内における除菌のための手洗い効果と環境表面からの細菌の検出	環境感染	22 (3)	175-180	2007
磯貝恵美子, 磯貝 浩	自然免疫における抗菌ペプチドの機能	ダニ研究	2	1-3	2007
Kobayashi-Sakamoto M, Hirose K, Nishikawa M, Isogai E, Chiba I.	Osteoprotegerin protects endothelial cells against apoptotic cell death induced by <i>Porphyromonas gingivalis</i> cysteine proteases	FEMS Microbiol Lett	264 (2)	238-245	2007

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sato N, Kamata T, Akiyama N, Kuwana M, Kanda T	Acute inflammatory sensorimotor polyradiculoneuropathy associated with immune thrombocytopenic purpura	J Intern Med	257 (5)	473-477	2005
Hudson LL, Rocca KM, Kuwana M, Pandey JP	Interleukin-10 genotypes are associated with systemic sclerosis and influence disease-associated autoimmune responses	Genes Immun	6 (3)	274-278	2005
Sato S, Hirakata M, Kuwana M, Suwa A, Inada S, Mimori T, Nishikawa T, Oddis CV, Ikeda Y	Autoantibodies to a 140-kD polypeptide, CADM-140, in Japanese patients with clinically amyopathic dermatomyositis	Arthritis Rheum	52 (5)	1571-1576	2005
Okada T, Noji S, Goto Y, Iwata T, Fujita T, Okada T, Matsuzaki Y, Kuwana M, Hirakata M, Horii A, Matsuno S, Sunamura M, Kawakami Y	Immune responses to DNA mismatch repair enzymes hMSH2 and hPMS1 in patients with pancreatic cancer, dermatomyositis and polymyositis	Int J Cancer	116 (6)	925-933	2005
Suzuki S, Shimoda M, Kawamura M, Sato H, Nogawa S, Tanaka K, Suzuki N, Kuwana M	Myasthenia gravis accompanied by alopecia areata: clinical and immunogenetic aspects	Eur J Neurol	12 (7)	566-570	2005
Kuwana M, Okano Y, Pandey JP, Silver RM, Fertig N, Medsger TA Jr	Enzyme-linked immunosorbent assay for detection of anti-RNA polymerase III antibody: analytical accuracy and clinical associations in systemic sclerosis	Arthritis Rheum	52 (8)	2425-2432	2005
Satoh T, Okano T, Matsui T, Watabe H, Ogasawara T, Kubo K, Kuwana M, Fertig N, Oddis CV, Kondo H, Akahoshi T	Novel autoantibodies against 7SL RNA in patients with polymyositis/dermatomyositis	J Rheumatol	32 (9)	1727-1733	2005
Kuwana M, Okazaki Y, Satoh T, Asahi A, Kajihara M, Ikeda Y	Initial laboratory findings useful for predicting the diagnosis of idiopathic thrombocytopenic purpura	Am J Med	118 (9)	1026-1033	2005
Sato S, Hirakata M, Kuwana M, Nakamura K, Suwa A, Inada S, Mimori T, Ikeda Y	Clinical characteristics of Japanese patients with anti-PL-7(anti-threonyl-tRNA synthetase)autoantibodies	Clin Exp Rheumatol	23 (5)	609-615	2005
Ogawa Y, Kodama H, Kameyama K, Yamazaki K, Yasuoka H, Okamoto S, Inoko H, Kawakami Y, Kuwana M	Donor fibroblast chimerism in the lacrimal gland of human chronic graft-versus-host disease	Invest Ophth Vis Sci	46 (12)	4519-4527	2005
Suzuki S, Satoh T, Yasuoka H, Hamaguchi Y, Tanaka K, Kawakami Y, Suzuki N, Kuwana M	Novel autoantibodies to a voltage-gated potassium channel KV1.4 in a severe form of myasthenia gravis	J Neuroimmunol	170 (1-2)	141-149	2005
Kodama H, Inoue T, Watanabe R, Yasuoka H, Kawakami Y, Ogawa S, Ikeda Y, Mikoshiba K, Kuwana M	Cardiomyogenic potential of mesenchymal progenitors derived from human circulating CD14 <sup>+</sup> monocytes	Stem Cells Dev	14 (6)	676-686	2005
桑名正隆	自己免疫疾患としての血液病〜どこまで解明されたか〜；自己免疫性血小板減少症	血液フロンティア	15 (5)	53-62	2005
桑名正隆	特集「血栓症の分子病態とその治療」より；免疫性血小板減少性紫斑病患者に対するヒト化抗CD154抗体単回投与の血小板特異的自己免疫応答に対する効果	分子細胞治療	4 (3)	76-77	2005
桑名正隆	膠原病；強皮症の診断基準・病型分類・重症度	内科	95 (6)	1445-1449	2005